

○東京都市大学 エコ・キャンパスツアー☆

①ゴミ分別



⇒大学独自の8分別(石油由来、アルミ、スチール、可燃、カン、ビン、ペットボトル、キャップ)を行っているそうです。キャップは400個一口でワクチン購入にあてる活動をされているそうです。表示の紙は手作りだそうです。

②外付けカーテン



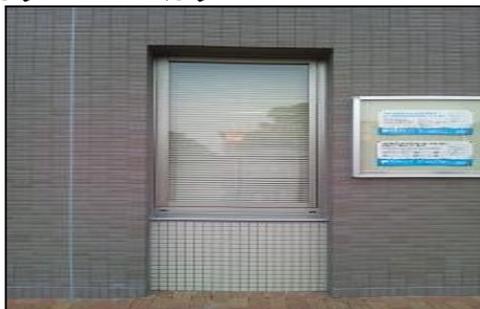
⇒よくみると外側に付けられています。パソコンルームに直射日光が当たることを防ぐものだそうです。

③蒸散作用レンガ



⇒雨水を吸収し溜め込む事ができ、晴れた日には溜まった水分が蒸発し、打ち水効果が得られるそうです。

④複層ガラス・Low-Eガラス



⇒断熱性に優れた複層ガラスと、断熱に加え遮光にも優れたLow-Eガラスが事務所の窓に使われていました。

⑤壁面緑化



⇒緑のカーテンを作るために、ゴーヤや朝顔を植えている真っ最中でした。

⑥前向き駐車



⇒駐車場は、後ほど登場する保全林に囲まれています。そのため前向き駐車して排気ガスが草木にあたらないように前向き駐車が徹底されていました。

⑦保全林



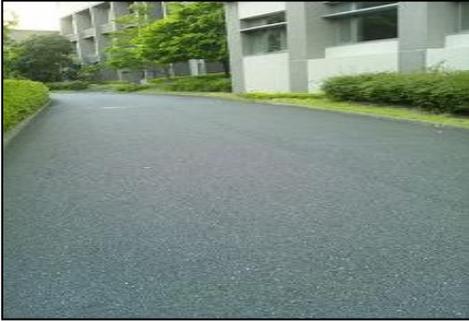
⇒大学のある都筑区が実施している、グリーンマトリックス(鳥等の生物が行き来しやすいよう、区内各地の森林を護る取り組み)に登録されている森林だそうです。一般に開かれており、森の豊かな資源を活用したイベント(竹やぶでたけのご掘りイベントetc)も開催されているそうです。

⑧庇



⇒年間の太陽光が差し込む角度にあわせ、直射日光を避けるよう設計されているそうです。

⑨透水性アスファルト



⇒足元のアスファルトも環境に配慮されていました。雨水を通しやすいアスファルトは熱を溜め込まないため、アスファルト下の地中の生態系を保つ事が出来るそうです。

⑩ソーラーシステム



⇒体育館の屋根にはソーラーシステムが設置されているそうです。ソーラーシステムは日光の熱を利用し水を温めることができ、体育館では温水シャワー等に利用されているそうです。

⑪風力・ソーラーパネル発電



⇒バスロータリーのそばに立っていました。隣の時計と守衛所のライトを動かす電力を生み出しているそうです。この日は風車がフル回転していました!!

⑫ビオトープ



⇒貯水槽から雨水を引き、ソーラーパネル発電によって水流を生み出しているそうです。めだかが泳いでいました。